

第 24 回 潜水医学講座「小田原セミナー」 in 品川 2026

新型コロナウイルス感染症が収束し、社会は平常どおりの生活に戻りました。これに伴い、人々の社会活動も以前にも増して活発になっています。また、従来は本邦居住者が中心であった潜水活動も、インバウンドの参入も見られます。このような中、安全潜水への取り組み等、現状を認識し、減圧症等の潜水病への知識の研鑽、救助救命技術の充実、一般ダイバーへの周知・啓発等を目的に、下記のとおり、潜水医学講座「小田原セミナー」を開催いたします。

記

1 開催日時

2026 年 2 月 7 日（土）12 時 30 分から 16 時 30 分（開場 11 時 30 分）

2 主催者

主催：特定非営利活動法人 潜水医学情報ネットワーク（MINDER）

後援：日本高気圧潜水医学会 関東地方会

3 参加対象者

警察・消防・海保・自衛隊等、救助機関関係者

医師・看護師・臨床工学技士等医療関係者

ダイビングインストラクター、一般ダイバー等

4 参加費

3,000 円

5 テーマ

多角的な視点で潜水事故を防止しよう！

6 教育単位

日本高気圧潜水医学会会員は生涯教育単位 2 点が取得できます。

7 潜水医学講座「小田原セミナー」について

潜水医学講座「小田原セミナー」は、日本高気圧潜水医学会関東地方会により第 1 回を 2000 年 1 月 22 日に小田原市保健センターで開催いたしました。それ以降は、ダイバーが自らの手で運営するため、特定非営利活動法人「潜水医学情報ネットワーク」を立ち上げ、関東地方会と連携し、現在まで活動しております。セミナーへの参加者は、レジャーダイビング関係者はもとより、医療従事者、警察・消防・海保・自衛隊等の救助機関関係者等も参加されております。

8 プログラム

演題 1 溺れにつながる「めまい」について

防衛医科大学校脳神経外科 和田 孝次郎 先生

演題 2 減圧障害の発症から治療まで

水中カメラマン 河童隊 中川 隆 先生

牧田総合病院 高気圧酸素治療センター 土居 浩 先生

演題 3 「なぜダイビングの事故は 40 歳以上に多いのか？その対策は？」

医療法人信愛会山見医院 山見 信夫 先生

演題 4 シンポジウム「潜水事故症例を多角的な視点で検討する」

座長：高橋 実（潜水医学情報ネットワーク理事）

野澤 徹（水中科学研究所 主席研究員）

（1）最近の潜水事故の発生状況

第三管区海上保安本部

（2）潜水事故はどうして起こったのか。多角的な視点から考える

医師：和田先生・土居先生・山見先生

救助機関：海上保安庁

インストラクター：山中康司・荻部 徹